

アリを見つけたよ！



ひとりの女の子が指差して何かを必死に伝えてきました。
指先に注目してみると・・・



なにがいる？

「動く黒いモノ。小さい何か。」
これは一体なんだろう・・・



上手に歩けるようになり、自分の力で
行きたいところまで。

見える世界が広がってきました。
いろいろな物に気づき、それと同時に

“これは何だろう？”と触って
確かめようとします。

その好奇心に寄り添いながら、
保育者は見守ります。

これからも表情や仕草、目線など
小さなサインを

見逃さず、子どもの発見や驚きに
共感していきたいと思えます。

つかんでみようとするものの、
速すぎるアリの動きには勝てず。
保育者が「アリだよ」と声を掛けると、
「(あ)り！」と言葉と一緒に指差し。